

資料 2

平成 30 年度地方創生推進交付金事業について（広域連携事業）

1. 事業名

ブランディングによる農林水産業の基幹産業化

2. 事業年度

平成 28 年度～令和 2 年度（直方市は平成 29 年度より本事業に参加）

3. 事業概要

本事業は当初、福岡県及びうきは市が共同で県産農林水産物の販路拡大や農林水産業・農山漁村の活性化を目指し平成 28 年度から実施しており、本事業の一環として、県産品の食材を用いた移動型レストランの稼動がある。

平成筑豊鉄道沿線には、米、なす、トマト、アスパラガス、豊前一粒かき、豊前本ガニなど「福岡ブランド」のほか、ジビエ、農林水産加工品など多様な製品があり、その販売促進に地域が一体となってブランディング戦略をとっていく必要がある。平成筑豊鉄道が所有する車両を移動型レストランとして整備することで、平成筑豊鉄道沿線自治体の農水産物のブランディング化を目指す。

それに伴い、直方市を含めた平成筑豊鉄道沿線自治体が平成 29 年度から本事業に連携地方公共団体として参加。直方市及び平成筑豊鉄道沿線自治体は主に移動型レストランの稼動に向けた事業に携わる。

4. 連携地方公共団体

福岡県(代表)・うきは市・直方市・田川市・行橋市・小竹町・香春町・糸田町・赤村・福智町・みやこ町

5. 平成 30 年度以前の取り組みについて

平成 29 年度…平成筑豊鉄道車両の移動型レストランに関する基礎調査を実施

6. 平成 30 年度 総事業費 94,700,000 円（うち直方市負担 6,268,000 円）

※交付決定額 3,166,000 円 ※交付確定額 3,134,000 円

【直方市が負担した事業】

事業名	事業内容	事業費
平成筑豊鉄道観光列車事業	・移動型レストラン及びマルシェの商品企画、プロモーション等 ・移動型レストランに使用する車両の整備	直方市負担 6,268,000 円

7. 今後の方針

平成30年度に完成した観光列車を利活用した商品企画やプロモーションをさらに進めていくとともに、新たに整備される田川伊田駅を活用した新規事業の検討を行っていく。

8. 本事業における重要業績評価指標(KPI)の設定及び事業実績について

(1)本事業における重要業績評価指標(KPI)	事業開始前	平成28年度(1年目)	平成29年度(2年目)
	指標値	指標値(増加分)	指標値(増加分)
県産農林水産物輸出額(億円)	指標値：19億円	指標値：6億円 実績値：11.5億円 (実数：30.5億円)	指標値：2億円 実績値：2.1億円 (実数：32.6億円)
うきは産の農産物の平均出荷価格を1.15倍(115%)に高める。(%)	指標値：100%	指標値：3% 実績値：4% (実数：104%)	指標値：2% 実績値：-1% (実数：103%)
農林水産物のブランド品目数(品目)	指標値：7品目	指標値：3品目 実績値：3品目 (実数：10品目)	指標値：1品目 実績値：2品目 (実数：12品目)
移動レストランやマルシェ開催等による交流人口の増加(イベント開催時の金田駅の休日平均乗降者数)(人)	指標値：408人	指標値：0人 実績値：0人 (実数：0人)	指標値：0人 実績値：0人 (実数：0人)

(1)本事業における重要業績評価指標(KPI)	平成30年度(3年目)	令和元年度(4年目)	令和2年度(5年目)
	指標値(増加分)	指標値(増加分)	指標値(増加分)
県産農林水産物輸出額(億円)	指標値：2億円 実績値：未集計	指標値：2億円	指標値：3億円
うきは産の農産物の平均出荷価格を1.15倍(115%)に高める。(%)	指標値：3% 実績値：未集計	指標値：3%	指標値：5%
農林水産物のブランド品目数(品目)	指標値：1品目 実績値：未集計	指標値：1品目	指標値：1品目
移動レストランやマルシェ開催等による交流人口の増加(イベント開催時の金田駅の休日平均乗降者数)(人)	指標値：0人 実績値：0人 (実数：0人)	指標値：20人	指標値：20人

(1)本事業における重要業績評価指標(KPI)	KPI 増加分の累計
	合計値
県産農林水産物輸出額(億円)	指標値：15 億円
うきは産の農産物の平均出荷価格を 1.15 倍(115%)に高める。(%)	指標値：16%
農林水産物のブランド品目数(品目)	指標値：7 品目
移動レストランやマルシェ開催等による交流人口の増加(イベント開催時の金田駅の休日平均乗降者数)(人)	指標値：40 人
(2)地方版総合戦略における基本目標と数値目標	<p>●福岡県</p> <p>【基本目標①】「魅力ある雇用の場をつくる」</p> <p>【数値目標①】雇用者創出数（純増）1 万人（5 年間累計）若い世代を中心に、正規雇用の確保に努める</p> <p>●うきは市</p> <p>【基本目標①】うきはの資源活用と新たな雇用の創出</p> <p>【数値目標①】高校卒業世代（15 歳～19 歳の年齢階層）における市外への流出率を、現状の 17.4%から 2019 年には 15.4%へ低下させる。</p> <p>【基本目標②】地域コミュニティの再生と都市部からの人の呼び込み</p> <p>【数値目標②】うきは市への I ターン者を、現状の年間 30 人から 2019 年には 50 人に増加させる。</p>

※「県産農林水産物輸出額(億円)」及び「うきは産の農産物の平均出荷価格を 1.15 倍(115%)に高める。(%)」及び「農林水産物のブランド品目数(品目)」の平成 30 年度の実績値については現時点では未集計。

※直方市が関係のある KPI は「移動型レストランやマルシェ開催等による交流人口の増加(イベント開催時の金田駅の休日平均乗降者数)(人)」である。令和元年度より実施予定であるため KPI としては 0 人。

9. 関連する「直方市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の施策なし。